

日本財団笹川会長の国際海事賞受賞について

平成 27 年 11 月
海 事 局

1 . 背 景

国際海事賞 (International Maritime Prize) は、国際海事機関 (IMO) の活動及び目的に多大な貢献をした個人又は非政府組織に対する表彰制度。1980 年から基本的に毎年 1 名に授与されている。

今回、日本政府から日本財団の笹川陽平会長を推薦し、受賞が決まった。

2 . 笹川氏の IMO の活動及び目的への貢献 (主なもの)

- 世界海事大学 (IMO の付属機関) 及び国際海事法研究所等の 10 機関と協力し、海洋関連のキャパシティビルディングを実施 (2014 年までに 128 か国 1,000 人以上が卒業)。
- 国際海事大学連合 (世界の海事系大学のネットワーク) の設立及び運営の支援を通じて、海事教育訓練の向上に貢献。
- 1969 年からマラッカ・シンガポール海峡の海図作成、航路標識設置等の支援を実施。近年の同海峡の通航量の増加等を踏まえて、幅広い関係者の協力を呼びかけ、2007 年に協力の枠組み (協力メカニズム) を実現。

3 . 授賞式

- 場 所 : IMO 本部
- 日 時 : 11 月 23 日 (月) 夕刻

4 . 参 考

笹川陽平氏の受賞は、日本人としては 2 人目 (1992 年に篠村義夫氏 (元 IMO 事務局次長) が受賞して以来) となる。IMO 事務局関係者以外では、初めての日本人の受賞。